あけましておめでとうございます。
本年は「女性活躍の今とこれから」をテーマに、座談会を開催しました。
メンバーは、経営者や長として雇用する立場である渡邉町長、学校現場で未来を担う子どもたちを数多く見守り、管理職でもある都幾川中学校の野口校長、仕事をいくつもかけ持ちをする１児のシングルマザー新井さん、８年前に町議会議員に初当選し１児の母でもある小島議長。
ファシリテーター（進行役）は、町起業支援施設を運営している「ときがわカンパニー」代表で、女性を含めた多くの起業家を育成する、働き方のプロフェッショナルで４児の父、関根さん。
立場も働き方も家庭環境も違う５人による座談会が今、はじまります。

関根　本日ファシリテーターを務める関根と申します。ときがわ町に引っ越して13年になります。子どもが４人いまして、一番下が玉川小学校２年生、一番上が19歳で社会人２年目。あとは中１と高２がいます。仕事は会社を２つやっていまして、ときがわカンパニーと企業研修の会社を経営しています。皆様の自己紹介をお願いします。

野口　都幾川中学校の校長に着任し、今年で３年目になります。着任したときはコロナ禍の真っただ中でした。

新井　ときがわ町に越してきて12年になりました。母子家庭で、子どもは玉川小の６年生です。仕事は観光協会の事務員を週に３日間、そのほかに自営業でキッチンカーでの飲食営業をやったり、総菜加工品づくりをしたり、施設の管理人の仕事もしています。

町長　町長の渡邉一美です。２期目となり、４年と少し経ったところです。以前は食品製造会社の社長をやっていて、女性を多く雇用している立場です。今日はいいテーマでみなさんと話せるということで嬉しく思っています。

小島　８年前に町議員に初当選して、今年の２月に３期目に入り、今は議長をしています。生まれは川口市で、転々としてから夫の実家の五明に入りました。子どもは22歳になる長男がいます。

◆働く女性のしごと

関根　新井さんは仕事を３つされているとのことですが、どんなスケジュールで働いているのか、教えていただけますか。

新井　毎日、起きて子どもを学校に送り家事をしてから仕事に行きます。㈫㈬㈮の週３日は観光協会で勤務、㈯㈰はキッチンカーでイベントに出店。鳩山のコミュニティマルシェで月に１・２回、㈪か㈭にキッチンを担当しています。週に１回は自分にご褒美の日を設けようと思っていて、温泉に入ったり外食をしたりするオフの日にしています。

関根　野口さんは、普段はどんなお仕事をされていますか。

野口　校長という仕事は、校務をつかさどり、職員を監督するという仕事で、学校運営上の一切の仕事を私の責任で処理をしているというのが大枠です。教職員の管理、指導助言などです。

関根　ときがわで３年目とのことですが、その前も校長でいらしたんですか。

野口　校長職は５年目で、２校目になります。前は東松山市の北中学校でした。今までは中規模校での勤務しか経験がなかったので、小規模校は初めてです。小規模校の特徴をきちんととらえながら学校運営をしていく初めての挑戦と考えて、３年目になります。

関根　次に小島さん、議員はどんなお仕事をされているのか、教えていただいてもいいでしょうか。

小島　議会での役割は町執行部から提案された政策を最終決定することと、決定した政策が適正になされているか監視する立場にあります。議員は住民から選ばれた代表者であり、奉仕者です。住民の皆さんの声を聴き、暮らしやすい町づくりのために、行政への提案やパイプ役として働いています。

◆仕事について、子どもと話すこと

関根　息子さんが今22歳で、８年目ということは、14歳、中学校１，２年生の頃に立候補したということですか。

小島　そうなんです。

関根　私の子のひとりも中１で多感な時期なんですけど、お母さんが議員になると聞いたときはどうでしたか。

小島　私一人でできる仕事ではなく、家族の協力あってだと思っています。相談したら、「町のために働く気持ちがあるなら、僕は応援するよ」と気持ちよく言ってくれたので立候補しました。

関根　いいですね。子どもからするとお母さんの顔写真がいっぱい出て、恥ずかしいじゃないですか(笑)。ご主人はどんな感じだったんですか。

小島　夫も驚いていましたが、私の気持ちを尊重してくれて、快く後押してくれました。しかし、議員に限らず、仕事を持つということは責任が伴い、家族や自分のことは二の次になり、家族に大きな負担をかけてしまっているのではと悩んだ時期もありました。

関根　議員を３期やる中で、子どもが成長していくといろんなイベントがありますよね。受験、進学、就職。そういうときに、壁を感じたり、辛かったりした時期はありますか。

小島　子どもが中学生と多感な時期に私が議員となり、学校に行けない時期がありました。もしかして私が議員になったことで、何か辛い思いをしているのではと悩みました。本人は関係ないと言っていましたが、見えないストレスがあったのではと思います。とにかくよく話をして、いくつもの山を乗り越えてきました。おかげさまで、今では子どもも成人し、「同じ悩みで苦しんでいる人の気持ちがわかる。自分が経験したことは無駄じゃない。意味あることだった。」と言っています。今は「いろいろな経験をして、たくさんの友達を作りたい。」と挑戦しています。

関根　新井さんも小６の息子さんがいらっしゃって、彼が仕事を手伝っている様子を見かけることもありますが、仕事に関してどう感じているのでしょ